

キー・トピック

「東方経済フォーラム2019」
の開催日時が決定

プーチン大統領が 東方経
済フォーラム成果を受けた
指示を承認

ロシア極東に148件の新事
業が創設



東方経済フォーラムのニュース

2018年10月19日「コムソモリスカヤ・プラウダ」

「東方経済フォーラム2019」の開催日時が決定

2019年9月4日から6日にかけて「第4回東方経済フォーラム」がウラジオストクの極東連邦大学のキャンパスで開催される。東方経済フォーラムの日付は多方面の国際イベントのスケジュールに応じて決定される。

ロシア連邦のアントン・コビャコフ大統領補佐官が来年の記念フォーラムには、ロシア極東のアジア太平洋地域経済への統合に関心を持つ代表者らが集まることを確信していると述べた。

<https://www.kp.ru/daily/26897.7/3941527>

2018年10月12日「タス通信」

ウラジーミル・プーチン大統領が第4回東方経済フォーラムの成果を受けた指令を承認

ロシアのプーチン大統領の指令の主要部分は、ロシア極東における画期的な技術開発、革新的な起業精神と教育に関連したものである。

特に、ロシア連邦政府はロシア極東における巨大科学技術センター創設のためにルースキー島に特別な法的地位を付与することを検討している。これは革新的なプロジェクト作成、実施、試験、ロボット工学、医学、バイオロジー、無人・海上輸送、環境などの分野における先進技術導入試験のための環境を創り出すことに貢献する。ルースキー島におけるテクノパークと「ビッグデータ」と情報セキュリティ開発分野のプログラム開発に関するデジタル開発センター創設の問題について研究されることになる。

ウラジーミル・プーチン大統領は同様に極東連邦大学を基盤として、極東連邦管区におけるビジネス界及び政府関係機関職員のためのデイ時たる経済管理分野における教育プロジェクトを創り出すように命じた。

<https://tass.ru/ekonomika/5667418>

2018年10月5日「タス通信」

ウラジーミル・プーチン大統領が「東方経済フォーラム2019」にインド首相を招待

ロシアのプーチン大統領は、今年の10月5日におけるインド公式訪問の過程において、インドのナレンドラ・モディ首相を第5回東方経済フォーラムの主賓として招待した。

東方経済フォーラム2018にはインド商工大臣のシュレーシュ・プラブフ氏が長を務めるインド使節団が訪問した。使節団のメンバーには、ロシア極東におけるロシア・インドの共同プロジェクト実施について議論したインド大手企業の経営者らの姿があった。

<https://tass.ru/ekonomika/5642137>

ロシア極東地域の国家政策

2018年10月30日「ヴェスチー」

初の極東連邦大学の代表部が日本に開設

東海大学における極東連邦大学代表部の晴れ晴れしい開設式にユーリー・トルトネフ副首相が参加した。新たな支部は学術交流の拡大、共同教育プログラム立ち上げ及びロシアと日本の関係強化に貢献することになる。

<https://www.vesti.ru/doc.html?id=3077486&cid=17>

2018年10月25日「インテルファクス」

ウラジーミル・プーチン大統領がロシア極東に貨物旅客船建設を指示する

ロシア連邦政府はカムチャッカ半島、サハリン港、マガダン州、沿海地方およびクリル諸島間の定期連絡を組織するために造船を支援する。同内容に関する指令は、プーチン大統領が、9月10日ウラジオストクで開催された国家評議会の成果を受けて出したものである。

<http://www.interfax-russia.ru/FarEast/main.asp?id=977656>

2018年10月18日「タス通信」

今年末までにウラジオストクで劇場・美術館複合施設の建設がスタート

プロジェクトでは、マリンスキー劇場のコンサートホール1100席、4つの美術館(国立エルミタージュ美術館、国立トレチャコフスカヤ美術館、ロシア美術館、極東美術館)からなる複合施設の建設が想定されている。

複合施設の中には音楽・劇業芸術高等学校も含まれることになっている。その他、ルースキー等にはチャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院、ワガノワ・バレエ・アカデミーの支部も創設される。プロジェクトのおおよその額は300億ルーブルである。同複合施設の建設完了は2023年中頃を予定している。

<https://tass.ru/v-strane/5688255>

東方経済フォーラム主催機関:

 ROSCONGRESS

2018年10月5日「Rambler.ru」

ロシア科学アカデミーがロシア極東における科学発展プラン開発に参加

開発コンセプトとして、新たな科学研究施設である石油・化学・ガス研究所、極東海洋大陸棚地質研究所、ナノテクノロジー研究所、ハイレーザー技術センターなどの科学技術部門の設立が想定されている。

<https://tass.ru/v-strane/5688255>

ロシア極東経済ニュース

2018年10月30日「東ロシア」

日本の投資家が沿海地方とハバロフスク地方に工場立ち上げを計画

「東京製綱(Tokyo Rope International)株式会社」はロシア極東における複数のプロジェクト実現の可能性を検討している。特に、世界に類のない特許技術を用いた画期的な送電線ケーブル用コア製造のための工場の建設がある。プロジェクトの金額は78億ルーブルである。

同様に、同社は加工度の高い製品の製造のための木材加工事業を創設する予定である。想定される投資額は60億ルーブルに達する。

<https://www.eastrussia.ru/news/yaponskiy-investor-planiruet-zapustit-zavody-v-primore-i-v-khabarovskom-krae/>

ロシア極東の新たな発展のメカニズム:成功の実例

2018年10月12日「タス通信」

ロシア極東に148件の新規事業が創設される

これらのプロジェクト実施は12万5000人以上の新規雇用を生み出すことを可能とした。投資総額は1590億ルーブルとなった。この事について、ロシアのユーリー・トルトネフ副首相が、ロシア極東における投資プロジェクト実施小委員会の会合で語った。

優先開発区域とウラジオストク自由港において、合計で1375件、総額3兆8000億ルーブルの投資プロジェクト実施が発表された。これらの事業の開設は、2025年までにロシア極東に13万4000人の新規雇用を創出することを可能とする予定だ。

<https://tass.ru/ekonomika/5668616>

ロスコンGRESS基金は大規模な会議や展示会の開催・運営会社である

ロスコンGRESS基金の創立は2007年に遡り、様々な大会や展示会の組織・開催、企業を対象にしたコンサルティングや情報サポート、ロシア経済及び世界経済の問題の包括的な情報収集・調査・分析のほか、ロシアのポテンシャルを引き出しロシアのイメージを向上させることを目指す。同基金は、PPP（公民連携）を含むビジネスプロジェクトへの投資やそれらの実施を促進し、運営する。

ロスコンGRESS基金は、ウルグアイのモンテビデオ市やロシアのウラジオストク市など、様々な国々でイベントを開催している。イベントには世界のビジネスリーダー、知識人、主要マスメディア、政府機関の首脳を招き、新しい構想やプロジェクトについての議論を行うための最適条件を確保し、チャリティプロジェクトや社会的事業の促進にも寄与している。

www.roscongress.org